

# 米無人機市民450人超犠牲

国連報告  
パキスタンなど  
04年以降

【ワシントン＝島田峰隆】国連人権高等弁務官事務所のエマソン特別報告者はこのほど、米国のテロ対策を理由に国外で続けている無人機攻撃の実態調査の中間報告をまとめた。報告はパキスタンなどで2004年以降に450人以上の民間人が犠牲になったと述べている。その上で、米国に民間人犠牲者に関するデータなど最大限の情報公開を求めました。米メディアが18日に伝えました。

調査は今年1月からエマソン氏を責任者にして始まりました。民間人の犠牲者数や攻撃の合法性について調べています。無人機攻撃の実態については民間組織が情報収集していますが、国連による調査は初めてです。

報告によるとパキスタンでは少なくとも400人の民間人が米国による無人機攻撃の犠牲になりました。アフガニスタンでは2012～13年にかけて30人以上、イエメンでは11年以降に少なくとも21人の民間人が亡くなりました。

報告は「無人機攻撃による民間人への影響を調査するうえで最大の障壁になっているのは透明性の欠如だ」「透明性の欠如は説明責任の空白を生み、犠牲者

が補償を求める能力に影響を与えている」と批判。米国をはじめ無人機を使用している国々は「伝えられる民間人犠牲者について調査し、攻撃の法的根拠を明確に示す義務がある」と指摘しました。またパキスタンが公の場では反対を表明していることから、無人機攻撃は主権侵害にあたるとの見方を示しています。米政府は無人機攻撃を秘密作戦と位置づけ、犠牲者数などを公表しておらず、国際社会から批判されています。中間報告は国連総会に提出され、最終報告は来年3月ごろになる見通しです。

**無人機攻撃** 米軍や米中央情報局(CIA)などが国際テロ組織アルカイダの幹部などを殺害することを目的として作戦に導入しています。遠隔操作で攻撃ができ、米側は人的被害を出不さすに努めます。一方、ミサイルの誤爆や巻き添えにより女性や子どもを含む多くの民間人が犠牲になっています。などから批判が高まっています。

2013年10月20日(日)

ブラック企業規制法案  
共産党公約実践第1号  
参院提出  
志位委員長が会見

日本共産党国会議員団は15日、若者らを過酷な労働に追い立て、使い捨てる「ブラック企業」をなくすために「ブラック企業規制法案」を参院に提出しました。党参院議員団の11人全員がそろって橋本雅史参院事務総長に手渡しました。志位和夫委員長が国会内で記者会見し、「7

月の参院選で躍進して得た議案提案権を活用した公約実践の第1号です。法案の成立をめざすとともに、国民運動と一体になって法案の内容に即して現実の政治を動かすという両面で頑張りたい」とのべました。

(提案にあたって) (法案要綱)

党国会議員団は8月、「ブラック企業・雇用問題対策チーム」を発足させ、労働者からの聞き取りなどを踏まえて法案を準備。党が単独で法案を提出するのは2004年以来、9年ぶりです。

志位氏は会見で法案について、違法行為へのペナルティー強化や長時間労働制限などの規制強化と、離職率公表などの情報公開で社会的な批判と抑止力をつく

るという二つの方向でブラック企業を規制するものとなっていると説明。法案の三つの柱(骨子参照)に沿って説明しました。「サービス残業の根絶やパワハラへの規制など、多くの労働者に共通する問題を解決する力にもなります」と述べました。志位氏は、法案を提出した理由について「若者を使い捨てる、使いつぶす働き方は、もはや一刻の放置もできません。ブラック企業を放置すれば、日本全体の労働条件の悪化をもたらす、企業経営とそこに働くすべての人たちの生活に大きな被害をもたらすことになりす」と強調しました。

ブラック企業が成り立つ根源に非正規雇用労働者の拡大があると指摘し、「いま政府がすすめている労働法制の規制緩和に反対し、労働のルールをきちんとつくり上げていく。非正規社員の正社員化をはかっていく。均等待遇のルールをつくっていく。こういう一連の取り組みも同時並行ですすめていきたい」と述べました。

志位氏は同法案について「党派の違いを超えて真摯(しんし)な検討と審議を行うことをすべての会派に要請していきたい。あわせて、労働者、労働組合はもとより、経営者のみなさんも含めて国民的な議論でブラック企業を規制し、使い捨て、使いつぶす働き方をやめさせる法改正が実現するよう力を尽くしたい」と語りました。

会見には小池晃副委員長が同席しました。



## ブラック企業規制法案骨子

- (1)長時間労働の是正
  - ・労働時間を正確に把握、記録し、本人らが閲覧できるようにする
  - ・年間の残業時間上限を360時間に法定
- ・次の出勤まで最低11時間の休息時間を保障
  - ・サービス残業は残業代を2倍にする
- (2)労働条件などの情報公開
  - ・採用数と離職者数を公表
  - ・求職者からのブラック企業に該当するかどうかの問い合わせに答える制度をつくる
  - ・賃金の内訳を明記させ、誇大宣伝や虚偽記載をやめさせる
- (3)パワハラをやめさせる
  - ・パワハラをやめさせ、違法行為を取り締まる。厚労省はパワハラを行った企業に指導や勧告を行う

2013年10月16日(水)

2013, 10, 22 NO. 628  
**日本共産党**  
磯城郡議員団だより

芝 和也 Eメール info@k-shiba.jp  
川西町結崎 862-7 0745-43-2415  
吉田 容工 Eメール katunori\_yosida@ybb.ne.jp  
田原本町大木 113-5 090-5257-4446  
森 良子 Eメール qfndg008@ybb.ne.jp  
田原本町鍵 281-1 0744-33-8570  
(事務局) 池田年夫 Eメール uvkk87386@zeus.eonet.ne.jp  
三宅町屏風 440-5 0745-43-2861

日本共産党発行  
**しんぶん 赤旗**  
日刊 月3,400円  
日曜版 月800円



## ごみ中継施設の建設

私はこの度、厚生建設常任委員会と清掃工場建設特別委員会に所属しました。

去る十六日、二つの委員会が開かれました。その中で「ごみ中継施設」は国道24号バイパス満田南交差点側道付近（7イレブンの隣）に決まり、平成26年2月頃から施工される計画です。敷地面積4500㎡に事務所、倉庫、車庫、積み替え設備などの施設が建てられ、一般家庭、事業者から持ち込まれる可燃ごみ、そのまみ、資源ごみが対象です。可燃ごみは貯留排出機で圧縮して積み替えると

いうダストドラム方式です。説明を聞いた後、私は次の事を質問しました。

「榑原市に近い町の端の方なので、町民にとって不便なのは？」に対して「御所への利便性がある」との答。更に「傍にはコンビニもあり、臭いなどの問題点があるので、は？」の問いには「脱臭装置、エアーカーテン、植栽もする」とのこと。他の議員からも臭い、その他の質問がありました。が、いづれにしても地元の方、そして榑原市の市民にしっかり説明し、賛同を得て問題の起こらないやり方でして欲しいと思います。

田原本議会

議員

森 良子



## 唐古・鍵遺跡整備検討特別委員会

コメリ建設予定地の発掘調査が先月まで行われていました。

9月14日、現地説明会があり、管玉や勾玉の製造所が確認され、「みやげが原」の中心地であったのでは？それ以降、平安時代や鎌倉時代の遺構も確認できました。幾たびも水害を繰り返していたようです。

説明会後、店舗建設の基礎工事が始まりもう見ることできます。

唐古・鍵遺跡史跡公園の盛土工事が今年終了するそうです。来年から、多重環濠や弥生の林・草地ゾーンの設置工事に入る。復元施設の検討も始まるそうです。あと4年

で完成する予定です。

これからが、たくさんの方が来られる史跡公園に出来るかどうか工夫が必要で。弥生の原風景の再生」と「弥生の体験」をどのように実現するか？単なる事務処理に終わらせるのではなく、想像力と構想力、リーダーシップが求められます。直径八〇センチもの柱の大きさ、弥生人の技術力の高さを実感できる公園にしたいものです。

今回、唐古・鍵遺跡整備検討特別委員会の委員長に就任しました。みなさんのご意見お寄せください。

田原本議会

議員

吉田容工



## 応援よろしく！

十月も後半に差し掛かって来ますと、さすがに、上着の着用が普通になって来ましたんで、暑さからも解放されてやれやれですね。

さあ、臨時国会が始まりました。法律を作る事が立法府である国会の仕事です。主権者の皆さんによって直接選ばれた代表が、選挙民の意思に沿って国のルールを作って行くと言う事であり、また、出来て来る法律は、そもそも主権者の皆さん誰もが歓迎して当たり前で有りまして、税制にしても、働く仕組みにしても、医療制度にしても、余暇を楽しむにしても、どんな問題でも、出来上がって来た法律（仕組み）に対して違和感や抵抗感

が有るようでは、立法府の仕事の自身が皆さんとかがみ合っていないと言うことに他なりません。こうした違和感について、皆さん是非探ってみてください。

私も日本共産党は、この違和感の解消に向けて参院選での約束第一弾として、若者を「使い捨て」「使いつぶす」今日の仕組みを無くすためのプラットフォーム企業規制法案を提出し、他党の協力も得ながら超党派でその成立目指して全力を尽くします。

何せ、議席増で法案提案権を与えてもらった結果ですから。この力をバネに、かみ合う仕組み作り頑張ります。

川西町議会

議員

芝 和也



カ「カブと柿のなます」

「冬瓜のしょうが汁」

「グレープフルーツジュースゼリー」を班に分かれて作り、弁当風に盛り付け食べました。私の班は主に「きのこの梅風味きんぴら」「カブと柿のなます」「冬瓜のしょうが汁」「和え物」「もやし・ニラ・パプリカ」作りしました。

食後の交流会では、生駒市の「ぶりの会」は毎月例会を行い、今年は1月に伊勢神宮に行く予定にしている。桜井市の「いきいきシルバークッキング」は毎月例会を行い、魚料理も例会とは別に行っている。と報告がありました。

来年の交流会は生駒市で行われることになりました。

三宅町

池田年夫



## 「男性料理教室」OB交流会

第12回「男性料理教室」OB交流会が18日、香芝市中央公民館であり、参加してきました。

当日は香芝市（食いしん坊クラブ22名）、生駒市（ぶりの会5名）、桜井市（いきいきシルバークッキング5名）、三宅町（SABAの会5名）、香芝カローリース（栄養士の団体5名）が参加。食事に保健センターの松崎所長（食いしん坊クラブ創設の中心メンバー）も参加され、「料理は科学だとNHK朝ドラのごちそうさんで言っているけど、まさに料理は科学です。」と歓迎の挨拶がありました。

当日の料理の献立は、「鱈のつけ焼き」「きのこの梅風味きんぴら」「かぼちゃ南蛮」「和え物」「もやし・ニラ・パプリカ」